

海外旅行

網走医師会
網走皮膚科クリニック

川嶋 利瑞

筆者はここ数年、休暇の時は海外旅行を楽しんでいましたが、現在はいつ海外旅行に行けるのか全く見通しが立たない状況です。そこで最近、自宅にいながら海外旅行気分を味わうことができるテレビの旅行番組を見るのが楽しみとなっています。そこで有名な番組ではありますが、私のおすすめの海外旅行番組をいくつか紹介したいと思います。

最初に紹介するのは「(新)地球絶景紀行」(TBS系列)で、2010年から放送されています。旅人(ナレーション)は初代が安田成美、二代目が森高千里、現在が吉田羊さんです。世界中の絶景を紹介する紀行番組。景色のみならず、人間ドラマ、動物の生態なども描かれます。最後は朝日か夕日の場面も多く、映像の美しさには目を見張ります。

次に紹介するのは「世界ふれあい街歩き」(NHK)。2005年放送開始の長寿番組です。毎回世界の一つの都市を取り上げ、地図を見ながら街中をぶらぶらと歩き、路地、市場、店舗などが紹介される。観光名所などはあまり出てきませんが、見ていてほっとする番組です。

三番目は、「迷宮グルメ異郷の駅前食堂」(BS朝日)。2018年4月放送開始。番組タイトルのように、グルメ番組ではありますが、タレントのヒロシが世界各国の鉄道駅を途中下車し、駅前の路地、市場などを散策し、最後に駅前の食堂(レストラン)で食事をする番組です。観光地は出てきません(イタリアのポンペイの時も遺産の中には入れてもらえませんでした)が、中学生レベルの英語で、レストランを探し、食事を注文するのは見ていて飽きません。

最後は付録となりますが、NHKの語学番組「旅するスペイン語(フランス語、イタリア語、ドイツ語)」は、旅番組としても楽しめましたが、今年秋からのシリーズは、国内収録の「旅するための…」に変わってしまったのは残念でした。ただし、ロシア語については、「ロシアゴスキー」として、再放送ではありますが、モスクワとサンクスペテロブルグの旅行番組としても楽しめま

す。以上、筆者の好みの海外旅行番組を紹介させていただきましたが、やはり本物には叶いません。感染が落ち着いて自由に海外旅行に行ける日が1日も早く来ることを祈っています。

「哲学の木」を探して

帯広市医師会
北斗病院

今村 隆史

京都を旅立ち北海道で初期研修が始まって、早いもので1年と6ヵ月が経ちました。去年の3月に車を運転し、フェリーで北海道に上陸し、雪の降る日勝峠を越え帯広に向かったのが今となっては遠い昔のように感じます。

かつて、僕が初期研修先を北海道にしようと思立った理由の一つに「写真」がありました。大学時代、僕はモノクロフィルムで写真を撮ったり、暗室で現像やプリントを行っておりました。ある時、僕はマイケル・ケンナという写真家を知りました。写真の町、東川町の写真賞も受賞している、イギリス出身の風景写真家です。彼は日本が好きで、“Hokkaido”というタイトルの、北海道の風景写真のみを集めた写真集が出版されたこともあります。僕が感銘を受けた彼の写真の一つに、かつて屈斜路湖畔にあった木を撮った写真があります(興味がある方は「ケンナの木」で調べてみてください)。「ケンナの木」と呼ばれていたそのミズナラの木は伐採され今はありませんが、伐採されるまでマイケル・ケンナは毎年北海道を訪れてその木の写真を撮り続けていたと言われています。彼が自然との対話の中で、心象風景の答えとしてたどり着いたのがその「ケンナの木」なのではないのだろうか、と僕はふと思いました。「ケンナの木」は彼にとっての「哲学の木」なのだろうと、そう直感したのです。そして、僕は北海道で生活している間に自分の「哲学の木」を探してみよう、と思いました。

各々の人に、人それぞれの心象風景があると僕は思います。日常生活の中で、そのような風景に出会えればどれほど素晴らしいことだろうか、といつも思うのです。この文章を最後まで読んでくださったあなたも、ご自分の「哲学の木」を探してみませんか。

